

**答** 自治会から要望があれば、消防本部に問い合わせをお願いしたい。

### 所信表明と今後4年間の市政運営について

**問** 296億円の大型プロジェクトが始まっている中、改めて決意を伺いたい。

栄地区の工業流通団地はどの程度の雇用が図られ、製造品出荷額等はどの程度になるのか。

**答** 実学系ものづくり大学と医療系高等教育機関には大きな期待を寄せている。二つ合わせて640人の学生がやってくる。活性化につながり、定住人口の拡大が図られるものと期待しているがどうか。

**答** 中長期的な財政の裏付けがあつて、後年度に過度な負担をかけるないように実現可能な所信表明を述べさせていただいた。

工業流通団地は公募を開始した段階であり、市内からの移転が、市外からの移転かでも異なってくるが、いずれにしろあれだけ大きな敷地の中に進出していた

だくわけであり、一定の雇用創出、一定の工業出荷額の底上げはあるものとみている。ものづくり分野への人材供給や県央医療圏で看護師が少ないという情勢を考えたとき、整備するのは必然と思つている。それが人口減少へのプラスの効果にもつながっていくと考えている。

### 駐輪場対策について

**問** 東三条駅前の送迎時の渋滞緩和などを目的に駅前駐輪場・駐輪場が整備された中、新たに整備されたことをどのように認識しているのか。

**答** 30年9月に供用開始したばかりであり、評価を総括するには十分でない。今しばらく周りの駐輪場はどう影響しているのか状況を見てみたいと考えている。

**問** 東三条駅周辺の整備は、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 東三条駅周辺の駐輪場は1626台分を確保している。引き続き利用状況等を注視していきたいと考えている。

### 公共下水道の整備が支障になつていないか

**問** 公共下水道整備、県下最下位、受益者負担金、使用料も県下高い。住みたいまちの支障になつていないか。

**答** 汚水処理区域の縮小は、人口減少等地域社会の構造変化に対応するもので、影響は生じない。

### ものづくり大学、名前を決めるのに非公開、それでいいの

**問** 市民から広く知ってもらう方が大事ではないのか。非公開にした理由は何か。

**答** 自由な意見交換を行うため。入学案内はいつできるのか。

**問** 県内の高校生から、この大学を選んでもらえるように31年2月ころに周知を図ることを予定している。

**問** 文科科学省からの設置認可はいつ下りるのか。

**答** 31年10月に認可申請を行い、32年8月に認可が下りる見込み。



東三条駅の駐輪場

### 地域防犯力等の向上について

**問** ドライブレコーダーは安全対策と万が一の事故対策を果たすもの。動く防犯カメラとして有効で、市有車の搭載状況と今後の導入をどう考えているのか。

**答** 市有車への搭載は42台。他の自治体の状況を調査して導入コストなどから検討したいと考えている。

### ドローンの活用について

**問** 防災対策に活用できないか検討してはどうか。災害現場の調査や被災者の状況確認などへの活用をどのように考えるか。

**問** 100億円かけてものづくり大学というのなら、県下最低の公共下水道を何とかしてくれという市民の声もあるが。

**答** ものづくり大学をとるか、公共下水道をとるかというのは乱暴な言い方であり、無駄な議論はやめた方がいい。

### 公共施設の耐震改修を進めるために

**問** 耐震改修促進基金を設置してはどうか。

**答** 基金の設置は考えていない。

### 遊休農地を観光農園としての無料貸し付け等について

**問** 農地法上の許可はどうか。

### 相続放棄の宅地、建物、農地等について

**問** 相続放棄された空き家、空き地の管理責任は誰にあるか。

**答** 迅速な被害状況の把握など、その有効性は認識している。運用に係る経費等について研究している。



焼津市のドローン活用事例

### 学校教育におけるICT化の推進について

**問** 教育の分野においてもICT機器を活用した授業が行われている。また、2021年には小学校でプログラミング教育が必修化される。三条市は全国的にも早い段階でICT機器を導入したが、現在の程度活用されて

**問** 最後に相続放棄した者にある。認可地縁団体が所有した場合、売買は可能か。

**答** 地縁団体に所有権が移れば売買は可能。

**問** 車道を通学路として利用している所がある。スクールバスを利用できないか。

**答** 危険箇所の点検、地域安全マップを作成し、安全確保に努めている。乗車基準の変更はない。

**問** 通学時の重いランドセルの負担軽減をどう考えているか。

**答** 学校に置いておく教材を把握していきたい。

**問** いじめ、不登校の対応はどうか。

**答** 子ども若者総合サポートシステムを活用し、課題解決に取り組んでいる。

**問** 低学年の給食の残食はどうか。

**答** 改善傾向にある。

**問** アレルギー対策は何か。

**答** 代替食の提供、弁当持参、自ら取り除き食べる三つの方法で対応し、事故のないようにする。

**問** 完食させる指導方法は何か。